



# 第3会場 ● 4F 視聴覚室

■司 会／東 恭司 福岡県教育庁京築教育事務所 主任社会教育主事  
松下 成悟 鹿児島県西之表市教育委員会社会教育課 課長

分科会の進め方 13:30~13:35

**1** 学びあうコミュニティの創出と支援者育成プログラム  
～住民の「参加」と「協働」を進めるために～ 13:35~14:05

江口 直隆(佐賀県佐賀市) 佐賀市立循誘公民館 主事

本事業は、佐賀市が進める「参加と協働のまちづくり」を実現していくために、地域活動の支援者である公民館職員の力量形成を目標とした。行政(協働推進課)と公民館が協働して、「持続可能な地域活動を支援する」ことを目的とした全10回の公民館職員研修を実施した。公民館が問われたのは、どうすれば住民の声や地域課題を「可視化」できるか、住民同士のネットワークを作り、課題解決にどう取り組めるかということである。研修の成果は職員の意識の高揚に繋がり、各公民館のワークショップやまちづくり会議に繋がり、地域診断プログラムの開発に繋がった。地域課題に取り組む校区は25年度の3校区から27年度の16校区に拡大した。

**2** お父さんが「気軽に子育て!」をする仲間づくり活動:「パパラフ」 14:10~14:40

馬場 義之(福岡県久留米市) パパラフ 代表

2012年活動開始。子育て中のパパたちが集まって、パパ、ママ、子どもたちが笑顔で楽しく子育てができるようにパパ友のコミュニケーションを深めます。「パパラフ」は、子どもと一緒に楽しむ「パパ式、子育てワークショップ」;それは、子どもたちへの贈り物!!活動内容は、毎月1回、久留米市子育て交流プラザ「くるるん」にて座談会を開催。子どもたちが遊んでいる広場にちゃぶ台をおいて井戸端会議!パパならではの子育て相談から、パパたちの特技や趣味の話で盛り上がります。パパの特技や趣味で子どもたちと一緒に楽しむことを提案。パパ自作のワークショップは、田植え、稲刈り、父子キャンプ、カニ釣り、魚釣り、段ボールワークショップ、パパサイエンス教室、BBQ、クリスマスバルーンツリーと色々開催しています。

ティータイム 14:40~15:05

**3** NPO「協育」アドバイザーネットの理念と方法～5年間の成果と総括 15:05~15:35

安達 美和子(大分県別府市) NPO法人大分県「協育」アドバイザーネット 事務局長  
佐藤 真由美(大分県別府市) 人と本を結ぶ読書支援プロジェクト「ゆい(結い)」 主宰

組織の発端は大分大学高等教育開発センターが主催した「協育アドバイザー養成講座」の受講生組織である。平成23年度からNPOを設立した。目的に掲げる理念は3つ:「高まること」、「広めること」、「つなげること」である。そのため定例の会議と研修を企画し、会員相互の交流、情報の交換、モデル事業・研究事業の立ち上げ、年6回の会報を発行して他団体・組織への発信などに力を入れてきた。読み聞かせサークル「結い」の結成、会員相互のつながりの強化、各種支援活動の充実などが成果である。活動資金は、会員74名、賛助会員31名の会費、事業収入、寄付金でまかなってきた。

**4** ホタルを守り、「ホタル舟」を工夫し、町を創る 15:40~16:10

伊藤 孝之(山口県下関市) 豊田町観光協会 観光開発部長

平成2年以来25年続いている事業である。活動の中心は下関市商工会青年部豊田町支部の約30名である。毎年6月中旬の2週間、木屋川上流に「ホタル舟」を浮かべて豊田町の自然を満喫してもらう。夜間の事業であるため、安全の確保、雨天時の対応、キャンセル待ちの対応、交通の便などの課題に対応しながら、子どもから地元企業までが準備に参加している。ホタル舟には、尺八やバイオリンなどの演奏を加えて、毎年3千人の来訪者をもてなしている。例年、舟は満席で、独立採算を貫き、町のPR、環境意識の醸成に成功し、環境大臣賞やふるさとイベント大賞:「ふるさとキラリ賞」を受賞している。